

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	学びのきっかけとなる英語や体育、けん盤ハーモニカなどの活動体験を重視しています
	内容	卒園後の就学を見据えて学びのきっかけとなる3～5歳児の体験活動を重視しています。ネイティブスピーカーによる英語教室を月1、2回実施し、英語でのあいさつや歌、ものの数えかた、体やものの名称などを遊びを通して学んでいます。専門講師による体育指導は毎週実施し、プログラムのもとにさまざまな運動をしています。このほか、当職員の指導によるけん盤ハーモニカ、さらに来年は小学校で実施されるダンスをふまえて「ダンス遊び」も導入する予定です。さまざまな経験を積み、小学校生活が楽しく過ごせるように工夫しています。
2	タイトル	広い園庭にピオトープや築山を作るなど園庭環境を整えています
	内容	広い園庭があり、四季折々の実のなる樹木が育っています。実をつける時期になると、子どもたちは職員と一っしょに収穫し、給食のメニューに取り入れるなどして食しています。このほか園庭にピオトープを作り、そこに生息する生き物を観察したり、採集したりして生き物の生命を実感しています。子どもたちの遊び場として砂場や築山なども作られ、異年齢の子どもたちがかわり、年上の子どもは年下の子どもをいたわり、年下の子どもは年上の子どもに憧れる気持ちが育っています。充実した園庭環境のもと、子どもたちは心豊かに育っています。
3	タイトル	園内研修の充実を図り、園全体で保育力の向上に取り組んでいます
	内容	毎月の職員会議は、子どもの午睡時間に行う月と、18時から行う月と交互に開催しています。夕方の会議は時間をかけて行えるため、職員の研修などを兼ねた会議にあてています。その中でさまざまな園内研修を行い、今年度は例えば、園長が作成した冊子「マナーの基本について」をもとに、職員はレポートを提出しています。保育士としてのマナーや人間関係の基本姿勢、報告・連絡・相談の大切さ、言葉の使い方などを学び、職員の意識向上や振り返りにつなげています。また、職員が講師となり自身の得意分野を共有する実践的な研修も実施しています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	「栄養指導」や「健康教育」など、栄養や保健に関する教育を取り入れていくことが望めます
	内容	園では食育活動として、計画的に野菜の栽培や調理を行っています。園庭の樹木のさくらんぼやぶどうなども収穫して、みんなで楽しく食べたりします。また、日ごろの指導に加えて、感染症が流行る時期には看護師がペーパーサートなどを活用して、予防の強化を図っています。子どもが栄養、安全や健康にさらに関心が持てるよう、今後はさらに、栄養士や看護師の専門職による「栄養教室」「保健教育」を実施されてはいかがでしょうか。例えば三色食品群の話、保健関係では歯や耳、5歳児に向けては命や体の話など、子どもも興味を持って学ぶことでしょう。
2	タイトル	子どもに対する接し方について、今一度職員間で話し合われることを期待します
	内容	当園は認定こども園なので、長時間利用の子どもや短時間利用の子ども、そして、その保護者たちと、一般的な保育園に比べ組織が複雑化しています。このような環境で教育・保育を担当される職員は、複眼的な対応が要求されているのではないかと推察されます。その中で、子どもに対する接し方において、やや厳しすぎる、口調がきついといった声が保護者から寄せられています。園長は折に触れて、子どもへの接し方について、組織的あるいは個別に指導を行っていますが、さらに実態を把握され、施策などを職員間で話し合うことを望みます。
3	タイトル	充実した保育をするための職場環境の整備を期待します
	内容	職員の就労状況に関しては、有給休暇を取得しやすく残業も少なくなってきました。園長は個人面談などで職員一人ひとりの意見や要望を聴取して、良好な職場環境の構築に努めています。その中で、勤務時間内における休息の取り方については、経営層と職員との間には意識の違いが見られます。職員にとっては休憩時間は、休憩室で少しでもゆったり過ごす時間を求めています。当園は広い施設環境にありますので、職員たちが和やかに過ごせる環境を工夫して作り出すことを期待します。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の教育・保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	「子どもの環境プロジェクト」では、手作りおもちゃの研究に取り組んでいます	
内容①	昨年度から立ち上げた「子どもの環境プロジェクト」では、「物やおもちゃによる応答」「ことばの応答」「心の応答」を挙げ、このような環境の中で、子どもが安心して「表出」できることを大切にしています。その中で今年度は手作りおもちゃに力を入れ、0～2歳児の遊びに取り入れています。特に低年齢の子どもには温かみを感じられるよう、布製や木製のものを用意しています。花はじきを使用したまごとの食材や「ポットン落とし」、はらぺこあおむしのボタンつなぎなど、多数のおもちゃを作っては提供し、子どもたちにも喜ばれています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	5-1-1	事業所にとって必要な人材構成にしている
タイトル②	「園評価」「職員自己評価」を通して個々のスキルアップにつなげるようにしています	
内容②	職員一人ひとりが「園評価」「職員自己評価」を通してスキルアップを図っています。「園評価」では行事、保育内容、保育体制、会議、係などを柱としてさらに細かい項目を設け、職員は自分のかかわった活動に対して評価・反省を行い、園長に提出しています。「職員自己評価」には2種類あり、移動及び能力開発・活用についてと、保育内容、こども園運営、行事、研修・研究などについて目標や達成へ向けての具体的な取り組み、成果と課題などを職員が年3回記述しています。これらを通して、職員のスキルアップにつなげています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-3-2	教育・保育課程や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している
タイトル③	「教育・保育課程」を改定し、養護的支援を強化することを園全体で確認し合っています	
内容③	「やよいこども園の教育・保育」は、当園の基本理念や育てたい子どもの姿をフローチャートで示したものです。「生きる」「家庭教育」「遊びと学び」「地域社会」の4つの柱をもとに、具体的な内容をわかりやすく記載しています。これは、5月の全体保護者会で保護者に配付しています。また、「教育・保育課程」では、教育的要素が中心だったこれまでのものに、養護的要素をさらに盛り込み、教育5領域においても具体的な加筆を行っています。なお、今年度、現園長が着任したことで、養護的支援を大切にしていける方針を園全体でも確認し合っています。	